

連 絡 ・ 報 告 書		報告日	令和 7 年 9 月 1 日
件 名	亀岡市支えあいまちづくり協働 支援金事業の見学について	担当部 課 名 報告者	生涯学習部 市民力推進課 主事 藤井 那菜 (内線 2 2 3 2)
要 旨	令和 7 年 8 月 2 9 日（金）に実施されました、畑野プロジェクト委員会の事業 見学を行いましたので、ご報告します。		
内 容	申請事業概要：旧畑野小学校を全館利用した夏の催しのおばけ屋敷 日時：令和 7 年 8 月 2 9 日（金）午後 6 時～午後 9 時 場所：旧畑野小学校 主催：畑野プロジェクト委員会 参加者：200 名以上 内容：令和 6 年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金の申請事業、「畑野プロジェクト『おばけ屋敷』」の開催。 当日、午後 6 時頃に会場に到着すると、すでに多くの参加者が受付兼待ち合いの体育館に集まっていました。6 時 30 分頃には、待っている参加者が 30 人以上になり、急遽長椅子が追加されました。7 時頃には 70 人近くの人々が待機し、受付には行列ができていました。さらに、8 時を過ぎると、多くの参加者が集まり、100 人近くが待機していました。主催者によると、参加者は少なくとも 200 名以上に達したとのこと。参加者の構成は、子供と大人がほぼ半々で、大人だけの参加者もいらっしゃいました。また、畑野町以外からの参加者も多く、南丹市から来た方もいらっしゃいました。 当日は、約 20 名以上のスタッフが体育館での受付、駐車場整理、おばけ屋敷内での運営などの役割を分担していました。おばけ屋敷は、「やさしいコース」と「上級者コース」の二つがあり、やさしいコースは 5 分間隔、上級者コースは 10 分間隔で 1 グループずつ呼ばれて体験するシステムでした。待ち時間が長くなることを考慮し、熱中症対策として無料の水と、200 円の有料ジュースが用意されていました。 上級者コースでは、手作りランタンと地図を持ち、4 つの教室を巡ってお札を集めるミッションが含まれており、視覚と音の演出が参加者を驚かせました。一方、やさしいコースは、手作りランタンと地図を使って 3 つの教室でお札を集めるもので、上級者コースとは異なる教室を使用しており、子供でも入れる安心なコースでした。 両コースとも、最後に明るい教室に入ると、準備の様子の写真を見て活動の説明を受け、フォトブースで写真を撮影することができました。スタッフの方が、これまでの経緯や準備の様子を分かりやすく丁寧に説明され、畑野町への思いが伝わる内容でした。さらに、参加者に SNS での拡散と寄付の協力を呼びかけ、多くの方々が協力しておられました。		

おぼけ屋敷内



活動紹介



フォトブース



その他
特記
事項

(回付先)
市民力推進課長